

オートフィルターとオートフィルは別物

名前は似ていますが、似て非なり・・・全くの別ものです。

両者ともすでに例の中で使用していますが、よく使う機能なので、オートフィルについてももう少し詳しい説明をします。

ここでは故意に**オートフィルター**と**オートフィル**が絡むよう解説になっています。

オートフィルターはフィールド（列）の検索やソートで、特にそれ以上の機能はありません。

オートフィル計算式のコピーの時に使用しましたが、他にも使え以下のような規則があります。

数字 ⇒ 連番（フィルダウン 1 ⇒ 2・3・4・5・6・・・

フィルアップ 2 ⇒ 1・0・-1・-2・・・）

曜日 ⇒（フィルダウン 月曜日 ⇒ 火曜日・水曜日・・・

木曜日 ⇒ 金曜日・土曜日・・・）

さすがに江戸・明治・大正・・・は無理です。

計算式 ⇒ コピー

関数 ⇒ 入れ子の数字が連番になるものと、ならないものがある。

オートフィルは縦方向（列）だけではなく横方向（行）にも機能します。

古いバージョンでは1行目に連番（1・2・3・4・5・6・・・）があり、2行目に異なる連番

（001・002・003・004・・・）を入力しようとする、上の数字に影響を受け、希望する入力にならないというバグがありましたが、現時点の最新バージョンでは解決しているようです。

オートフィルターで検索し抽出したデータには、Excelはコピーしかできませんが、Calcは連番も入ります。

ちなみにオートフィルター**オートフィルター**を解除またはすべてを選択し元データに戻すと、非表示になっていたセルは空白になります。

オートフィルで縦方向（列）のみの機能ですが、隣接した列に連続したデータがある場合、ドラッグではなく**ダブルクリック**で、データが続く行まで実行されます。

空白行があるとその手前で止まるので、空白行も含めたいときはドラッグするのですが、膨大なデータで数十万レコードなんてのはドラッグも大変です。

オートフィルターで空白行を抽出し、使用していない適当な文字列【qqq】などを（Alt+Enter）を使って入力してやります。

オートフィルのダブルクリックで連番を入力したあと、今度は【qqq】を抽出して削除してやれば、空白行に連番が残ります。

ただしそんな大きなデータだと、フリーズと間違えるほど時間はかかるでしょう。